

編集後記

2002年度から2004年度の3年間にわたって交付を受けてきた科学研究費補助金基盤研究(B)「ポストモダンの景観論・空間論における「文化的転回」の影響とその評価に関する研究」(研究代表者:山野正彦 大阪市立大学教授)を引き継ぐ形で、本年度より3年間の予定で科学研究費補助金基盤研究(B)「グローバル化時代における公共空間と場所アイデンティティの再編成に関する研究」(研究代表者:高木彰彦 九州大学教授)が交付されることとなった。この科研費による研究活動の成果として、「空間・社会・地理思想」第10号は発刊されることになった。

本誌が1996年に創刊されてから10年が経過した。若手あるいは中堅の主要寄稿メンバーが、どんどん商業雑誌や刺激的な書籍や論考を出してくれるようになり、少しは社会科学における地理学の露出をしてきている。新たな世代に向けて、引き続き本誌が魅力的なものであるように編集を心がけてゆきたい。

今回も、引き続き編集協力をいただいている花野孝史さんの(有)地域・研究アシスト事務所に大変お世話になった。いつものことながらお礼申し上げたい。PDFでの閲覧は、下記URLを参照していただきたい。

<http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/geo/books.htm>

「空間・社会・地理思想」第10号編集代表者 水内俊雄

空間・社会・地理思想 第10号

発行日 / 2006年6月30日

編集 / 科学研究費基盤研究(B)「グローバル化時代における
公共空間と場所アイデンティティの再編成に関する研究」
(研究代表者 高木彰彦)

編集代表者 水内俊雄

編集協力 / (有)地域・研究アシスト事務所

発行 / © 高木彰彦

九州大学大学院人文科学研究院地理学講座

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-19-1

電話 & ファックス 092-642-4476

takagi@lit.kyushu-u.ac.jp

印刷 / ホウユウ株

〒590-0982 堺市堺区海山町 1-8-4

電話 072-227-8231 ファックス 072-224-1466
